



おかげさまで「スマート・ファイブ」は、
設定から7年を迎えることができました。
これまでのご愛顧に感謝申し上げます。

スマート・ファイブ

(毎月決算型) / (1年決算型)

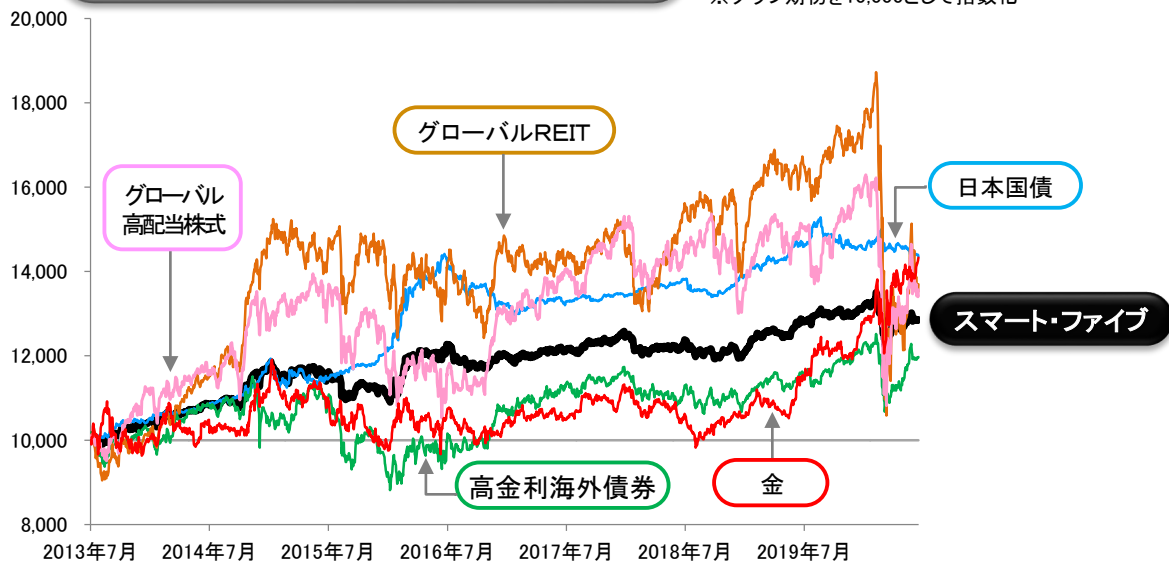
【設定来の運用の振り返り】

相場が乱高下する中、設定以降の7年間で、
+29%*と良好なパフォーマンスとなりました。

* 2020年7月16日現在の「スマート・ファイブ(毎月決算型)」の基準価額(税引前分配金再投資ベース、設定来)騰落率

スマート・ファイブと主要資産の推移

(2013年7月16日(設定日)~2020年6月30日)
※グラフ期初を10,000として指数化



- スマート・ファイブは、「スマート・ファイブ(毎月決算型)」の基準価額(信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の税引前分配金再投資ベース)のパフォーマンスです。
- 主要資産は当ファンドが投資対象とする投資信託(マザーファンドおよび外国籍投資信託など)のパフォーマンスです。
- 税引前分配金再投資ベースとは、分配金(税引前)を再投資したもものとして算出した理論上のものである点にご留意ください。
- 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

設定来のパフォーマンスと資産配分の推移

騰落率は毎月決算型の税引前分配金再投資ベースの値、純資産総額は毎月決算型と1年決算型の合算値です。

スマート・ファイブ戦略※により、概ね安定した推移となりました。

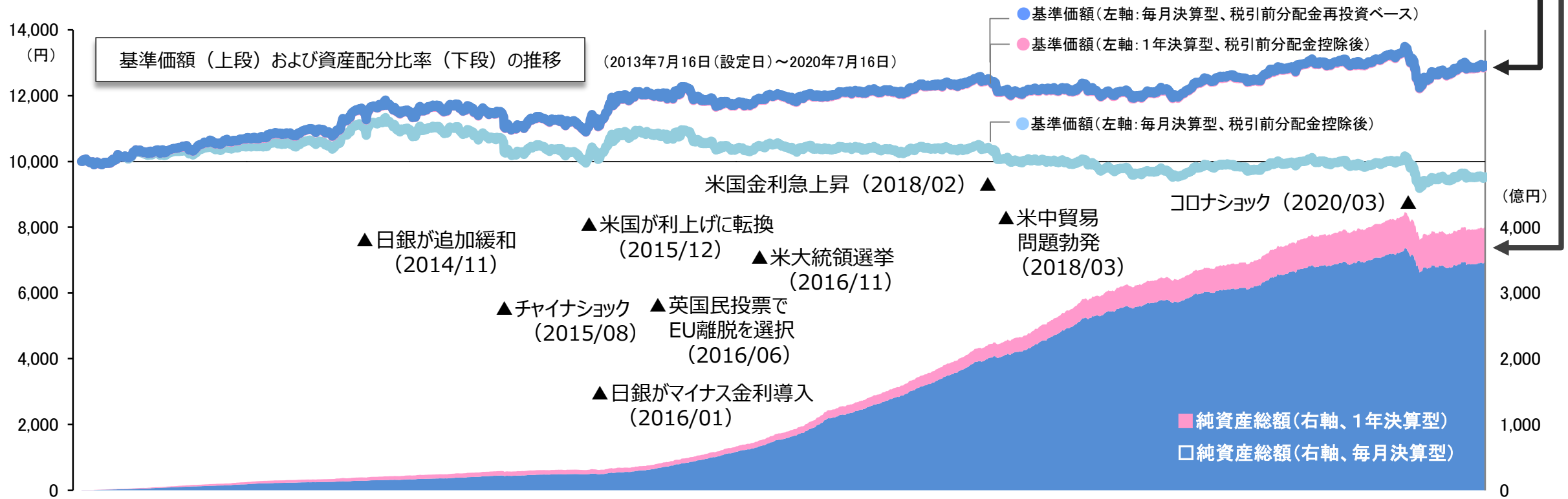
※ 投資先資産の基準価額への影響度合いが、概ね均等になるような資産配分戦略を用いて、基準価額が特定の資産から受ける影響を抑えることをめざす戦略です。
 なお、機関投資家など運用のプロの世界では「リスク・パリティ」と呼ばれています。

設定日から2020年7月16日までの騰落率

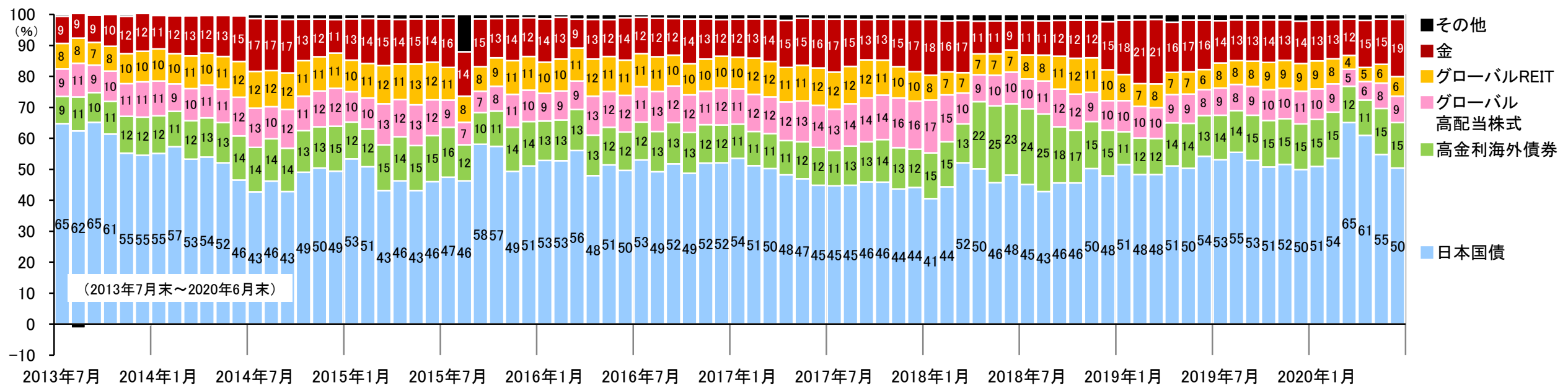
+29.31%

2020年7月16日現在の純資産総額(合計)

4,005億円

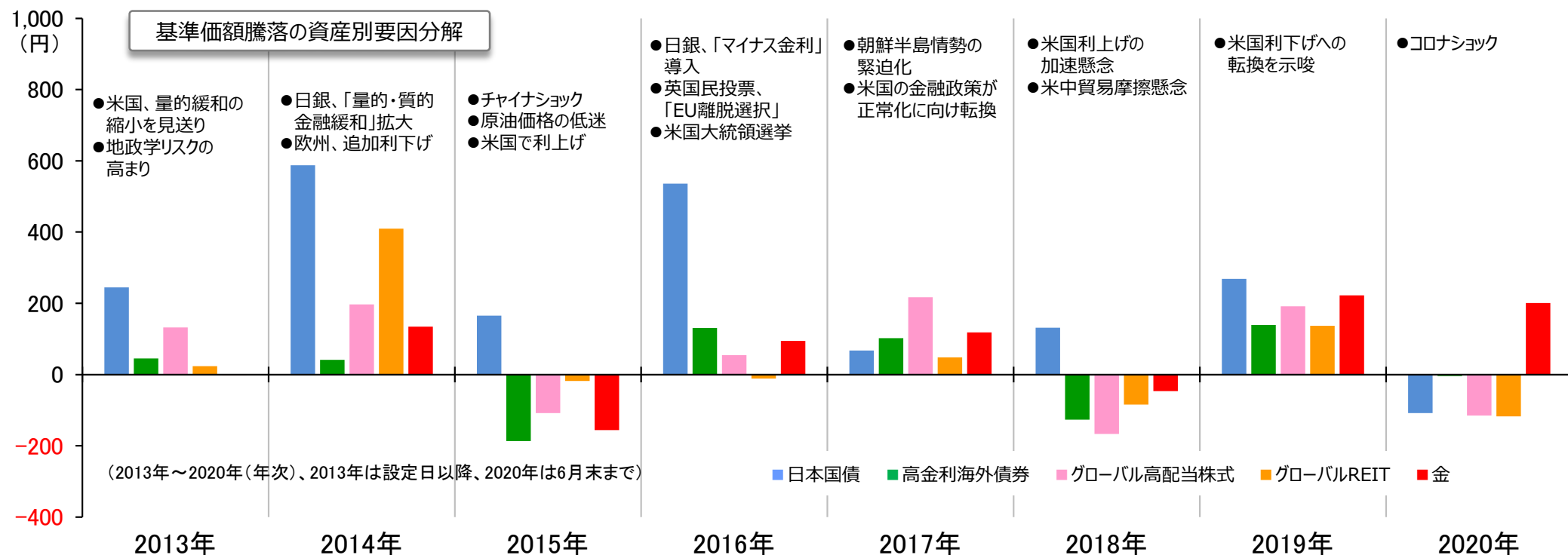
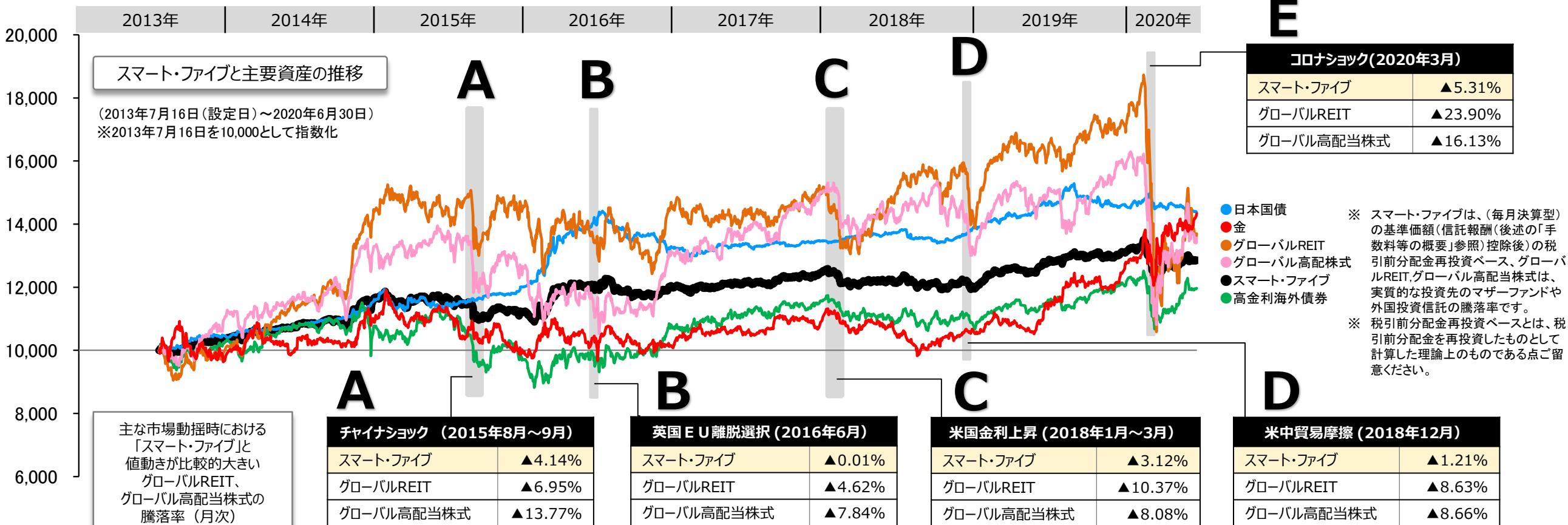


※資産配分比率は、2013年7月末~2020年6月末までの値です。



● 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後の1万口当たりの値です。
 ● 税引前分配金再投資ベースとは、分配金(税引前)を再投資したものとして算出した理論上のものである点にご留意ください。
 ● 資産配分比率は(毎月決算型)の純資産総額比の値です。
 ● 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

設定来の投資先5資産の推移と要因分解



設定来合計額
(設定から2020年6月末まで)

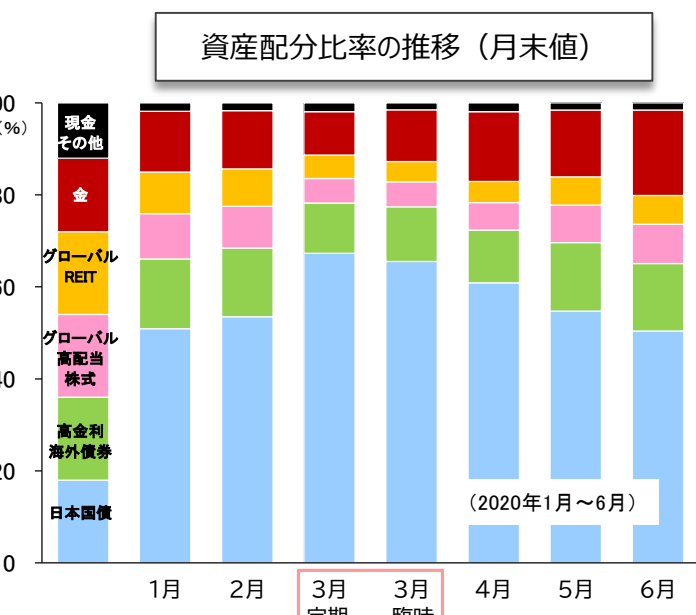
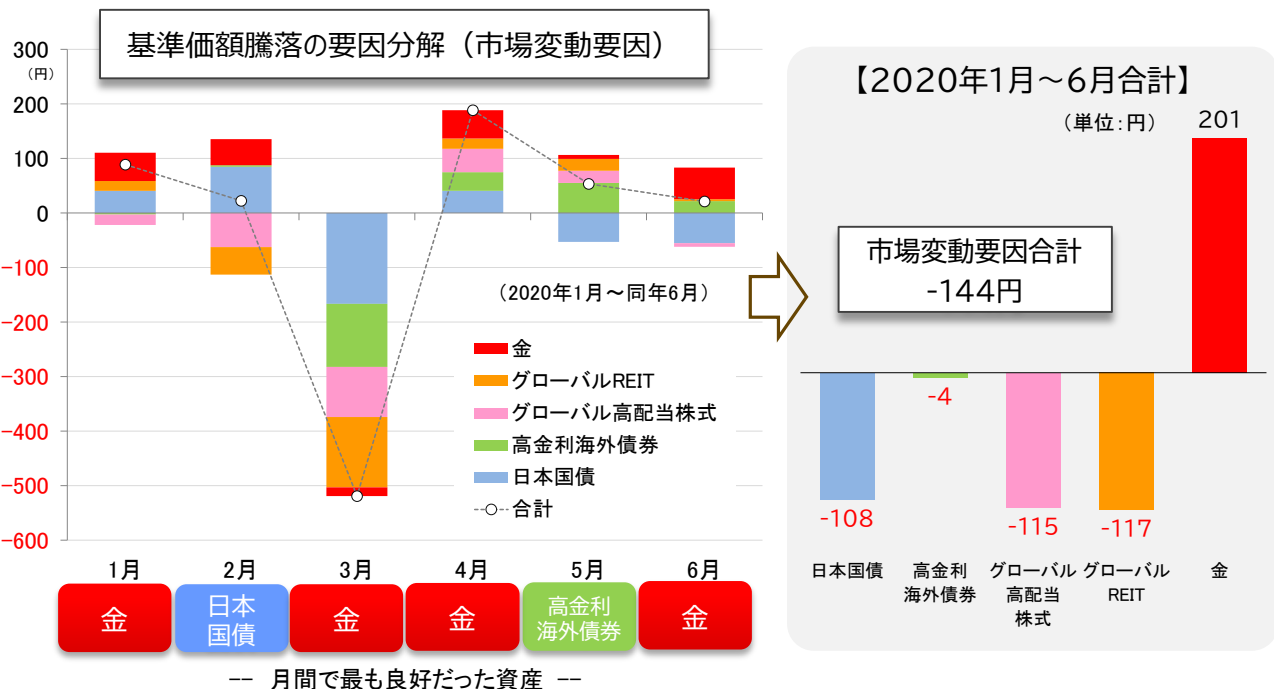
基準価額(設定時)	10,000円
(支払済)分配金	▲3,080円
資産別要因	
日本国債	1,893円
高金利海外債券	141円
グローバル高配当株式	401円
グローバルREIT	387円
金	568円
信託報酬など	▲785円
基準価額(2020年6月末)	9,525円

● 要因分解は(毎月決算型)の基準価額騰落の要因分解です。
● 要因分解は概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。
● 基準価額の変動要因には記載要因の他に、分配金の支払いや信託報酬等の要因があります。
● 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

2020年、荒れる展開のなか、「金」が最大の貢献役に

分散効果の高い「金」と資産配分の変更が、下落抑制効果を発揮

- 2020年前半の当ファンドのパフォーマンスは、コロナショックに伴う大きな下落に見舞われたものの、2019年末比▲2.0%*にとどまりました。 *毎月決算型の税引前分配金再投資ベース
- 基準価額騰落の要因分解を見ると、年前半を通じて金が基準価額に大きくプラス寄与しました。また、資産配分の定期変更および臨時変更で、3月以降、株式やREITの配分を引き下げるとともに、金の配分を引き上げたことも、基準価額の下落幅抑制につながったと考えられます。



<2020年前半の資産配分のポイント>

- 2月以降の市場変動拡大を受け、3月に日本国債を大幅に引き上げたほか、金を継続的に引き上げました。
- 同時にリスクが大きく上昇した、前述以外の3資産の配分を引き下げましたが、市場変動が落ち着くなかで、4月以降、資産配分の再調整を行ないました。

※ 3月は、臨時変更をわかりやすくお伝えするため、定期変更後および臨時変更後の計理処理終了後の、2020年3月11日および2020年4月1日の比率を掲載しています。

- 要因分解および資産配分比率は(毎月決算型)の基準価額騰落の要因分解および資産配分比率です。
- 要因分解は概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。
- 基準価額の変動要因には記載要因の他に、分配金の支払いや信託報酬等の要因があります。
- 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

スマート・ファイブ戦略の安定性

スマート・ファイブ戦略により、値下がり抑制されています。

- 資産が値下がりすると、その回復には下落時よりも大きな上昇が必要となり、取り戻すことが大変です。そのため、大きく下がらないような運用を行なうことが重要となります。

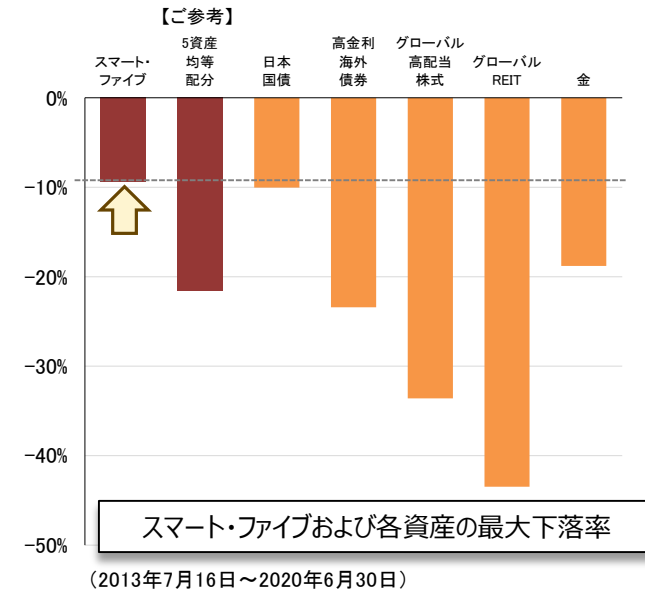
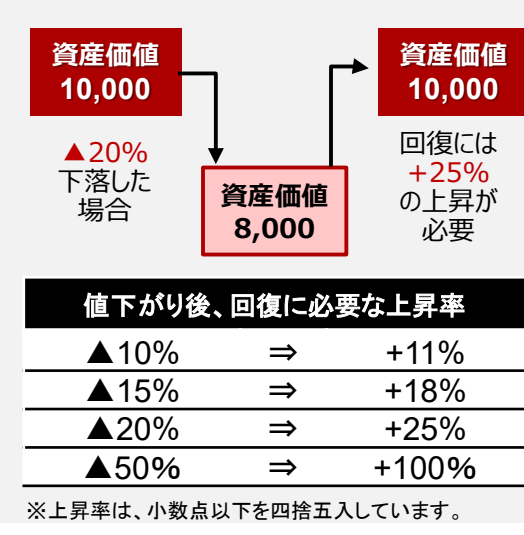
2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
	グローバルREIT 43.1%			グローバル株式 15.7%		グローバル株式 20.8%	
グローバル株式 12.7%	グローバル株式 18.5%		日本国債 10.3%	高金利海外債券 8.5%		グローバルREIT 19.8%	
日本国債 4.0%	スマート・ファイブ 12.4%		高金利海外債券 9.9%	金 8.1%		金 16.4%	
スマート・ファイブ 4.0%	日本国債 11.7%		スマート・ファイブ 6.8%	グローバルREIT 4.6%		高金利海外債券 11.6%	
高金利海外債券 3.5%	金 10.9%	日本国債 3.5%	金 3.8%	スマート・ファイブ 4.3%		スマート・ファイブ 9.0%	
グローバルREIT 1.4%	高金利海外債券 3.6%	グローバルREIT 1.5%	グローバル株式 2.3%	日本国債 1.6%	日本国債 2.7%	日本国債 5.5%	金 15.2%
金 -0.8%		スマート・ファイブ -3.8%	グローバルREIT -1.5%		金 -3.6%		高金利海外債券 -1.5%
		グローバル株式 -4.9%			スマート・ファイブ -3.9%		日本国債 -1.7%
		高金利海外債券 -9.4%			グローバルREIT -5.0%		スマート・ファイブ -2.0%
		金 -10.2%			高金利海外債券 -6.1%		グローバル株式 -15.5%
					グローバル株式 -11.6%		グローバルREIT -20.8%

スマート・ファイブおよび各資産の年次騰落率

グローバル高配当株式を省略してグローバル株式と表示しています。

2013年～2020年
2013年は設定日以降、2020年は6月末まで

■ 値下がりの回復には大きな上昇が必要 ■

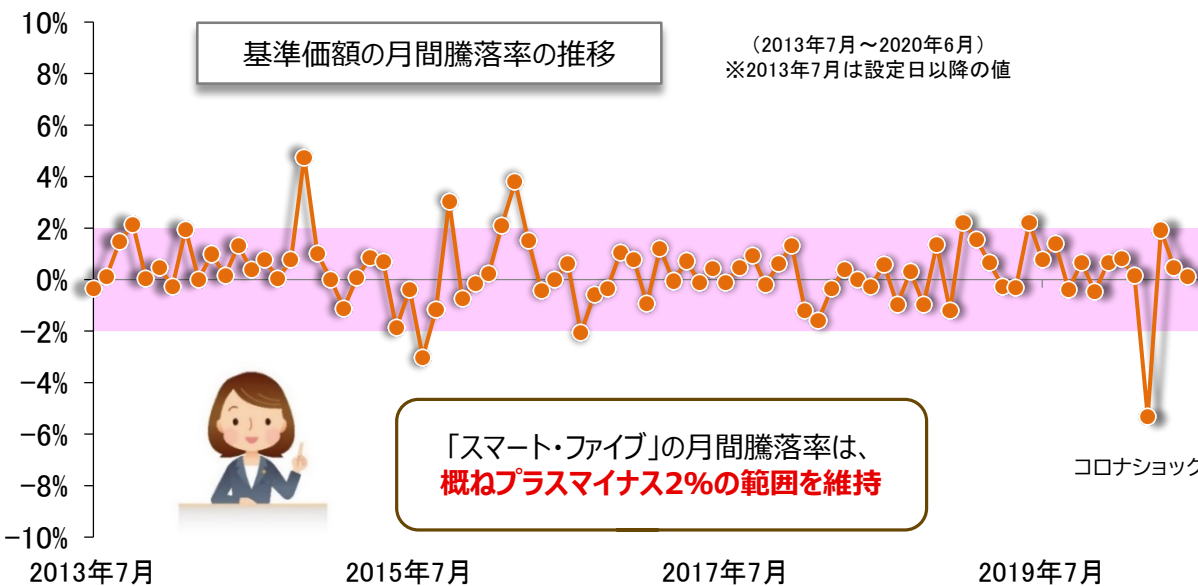
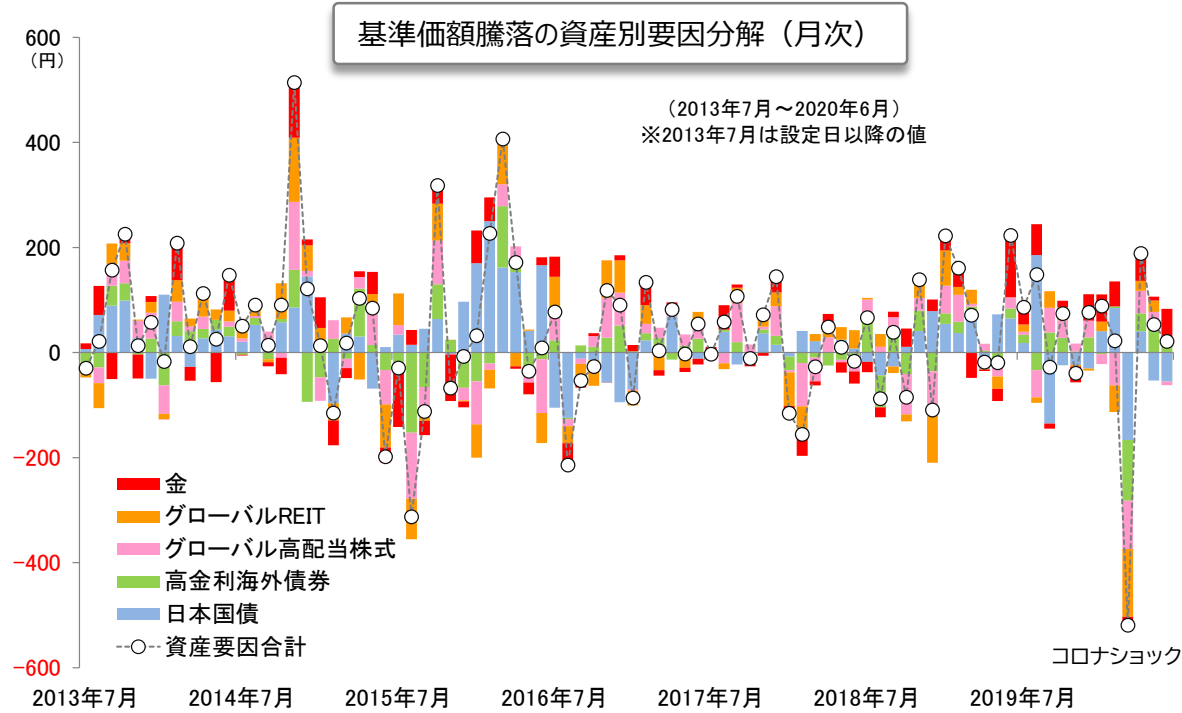


- 各資産の年次騰落率および最大下落率は、「スマート・ファイブ」は「スマート・ファイブ(毎月決算型)」の基準価額(信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後)の税引前分配金再投資ベースの値、その他は当ファンドの実質的な投資先のマザーファンドや外国投資信託の値です。
- 5資産均等配分は、均等額で当ファンドの投資対象資産に投資した場合のシミュレーションです。
- 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。
- 当ページは過去のものおよびシミュレーションであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

スマート・ファイブ戦略の長期投資効果

スマート・ファイブ戦略により、パフォーマンスは概ね安定しています。

- ファンドに対するリスクが均等になるように資産配分することで、個別資産の値動きを打ち消し合う効果が期待できます。加えて「スマート・ファイブ」では、相対的に高いインカム収益を期待できる資産へ投資することで、安定的な総合リターンを獲得をめざします。



- 上記グラフは(毎月決算型)の基準価額(税引前分配金再投資ベース)の騰落率です。
- 要因分解は概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。
- 基準価額の変動要因には記載要因の他に、分配金の支払いや信託報酬等の要因があります。
- 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。
- 当ページのグラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

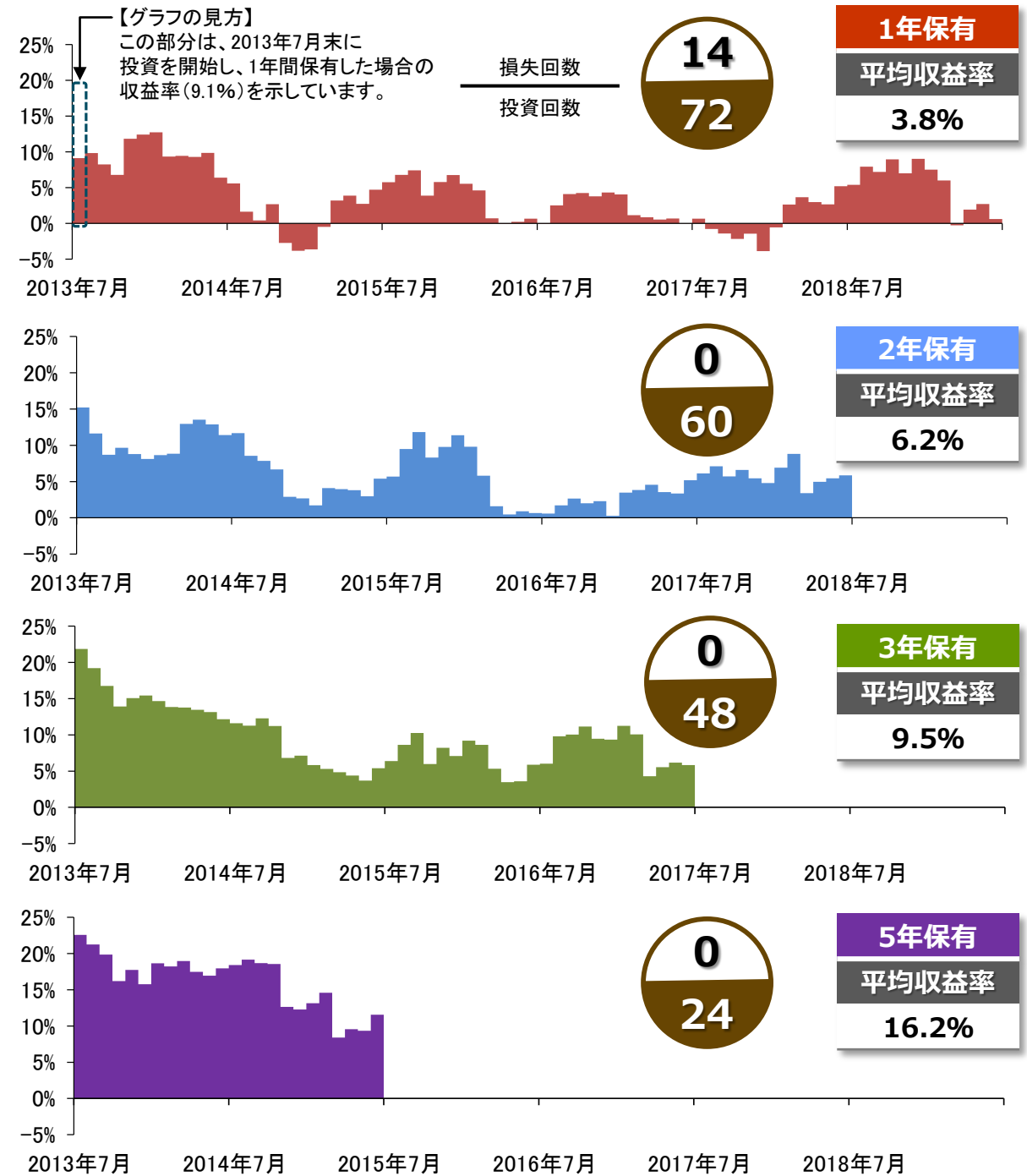
長く保有するほど「投資成果」が積み上がり
収益率がより安定する傾向にあります。

投資期間ごとの収益率 (月末ベース)

(2020年6月末時点)

損失回数
投資回数

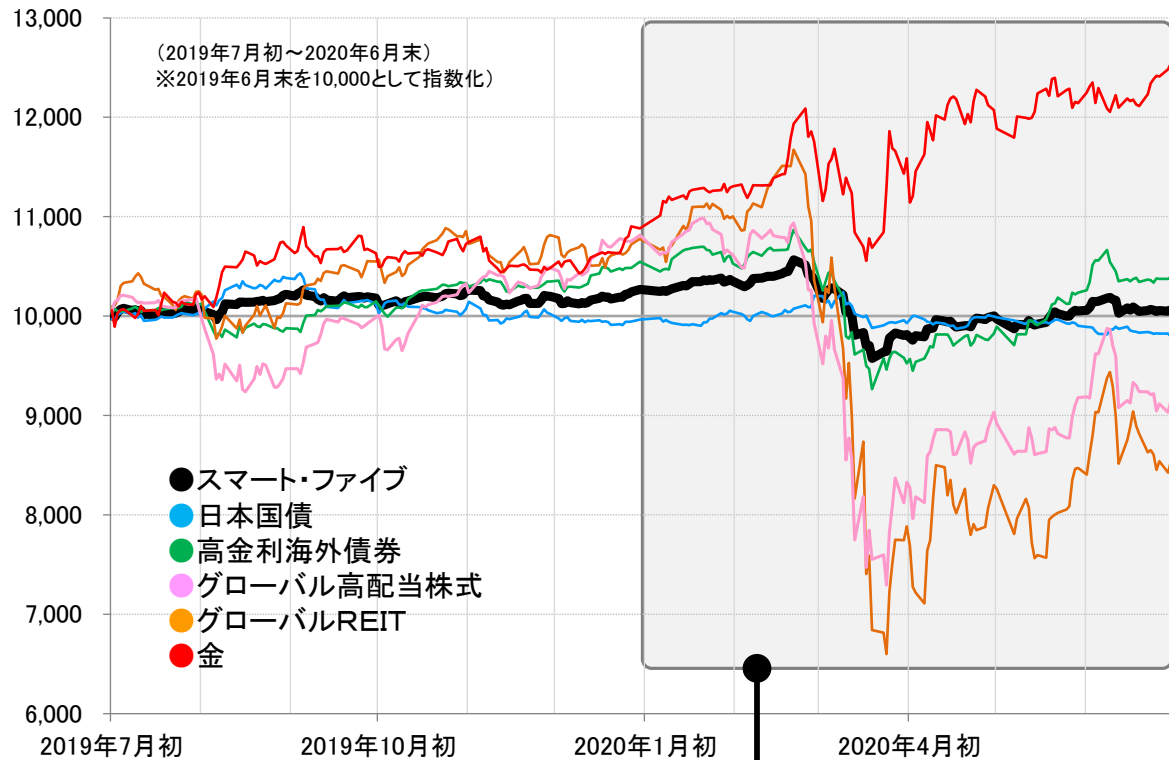
投資成果が
マイナス(損失)
となった回数
※月次ベース



- 上記は、2013年7月以降の各投資時点からそれぞれの保有期間において実現した収益率(月末ベース)を掲載しています。
- 収益率は「スマート・ファイブ(毎月決算型)」の基準価額(税引前分配金再投資ベース)をもとに算出しています。また、手数料や税金などの費用を加味していません。
- 税引前分配金再投資ベースとは、税引前分配金を再投資したものとして計算した理論上のものである点にご留意ください。
- 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

足元の1年間の振り返り

スマート・ファイブおよび各資産の推移



2020年の騰落率 (2020年1月～6月)

スマート・ファイブ	▲2.00%
グローバルREIT	▲20.77%
グローバル高配当株式	▲15.45%
金	15.25%

基準価額騰落の資産別要因分解

(2019年7月～2020年6月：月次、単位：円)

月	19/7	8	9	10	11	12	20/1	2	3	4	5	6	前半	後半	1年
日本国債	18	185	-135	-24	-23	-30	41	85	-166	41	-53	-55	-9	-108	-118
高金利海外債券	15	-34	38	28	2	29	-3	3	-116	34	55	22	79	-4	74
グローバル高配当株式	6	-52	47	34	15	32	-19	-63	-92	43	22	-7	82	-115	-33
グローバルREIT	14	-11	32	25	-3	-4	18	-50	-129	19	22	3	52	-117	-65
金	33	59	-10	12	-30	50	52	48	-16	52	7	58	115	201	316

分配金	-40	-40	-40	-40	-40	-40	-40	-40	-40	-40	-40	-40	-240	-240	-480
信託報酬ほか	-10	-9	-9	-9	-9	-10	-10	-9	-9	-9	-8	-9	-56	-54	-110
スマート・ファイブ	36	100	-77	25	-88	27	39	-26	-568	140	5	-28	23	-438	-415

上記は、税引前分配金控除の要因分解の値です。前半は2019年7月から12月までの合計、後半は2020年1月から6月までの合計です。

月次騰落率	0.8%	1.4%	-0.4%	0.7%	-0.5%	0.7%	0.8%	0.1%	-5.3%	1.9%	0.5%	0.1%	2.7%	-2.0%	0.6%
-------	------	------	-------	------	-------	------	------	------	-------	------	------	------	------	-------	------

月次騰落率は「スマート・ファイブ(毎月決算型)」の税引前分配金再投資ベースの騰落率です。

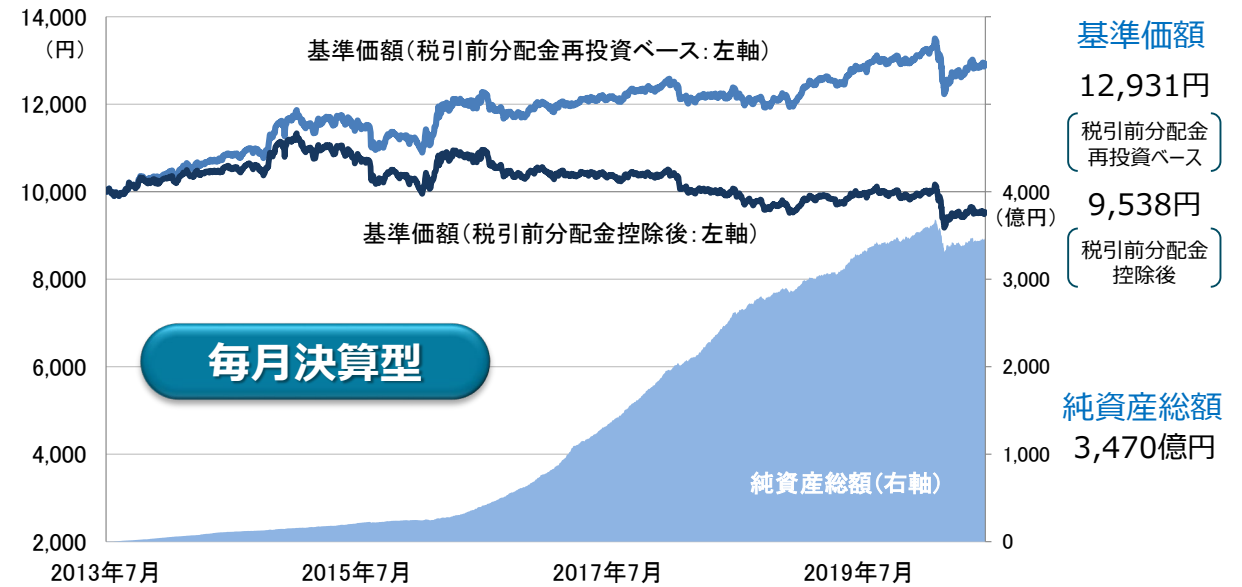
- 税引前分配金再投資ベースとは、分配金(税引前)を再投資したものととして算出した理論上のものである点にご留意ください。
- 要因分解は概算値であり、実際の基準価額の変動を正確に説明するものではありません。傾向を知るための参考値としてご覧ください。また、端数処理の関係で合計が合わない場合があります。
- 上記は過去のものであり、将来の運用成果などを約束するものではありません。

基準価額および純資産総額の推移

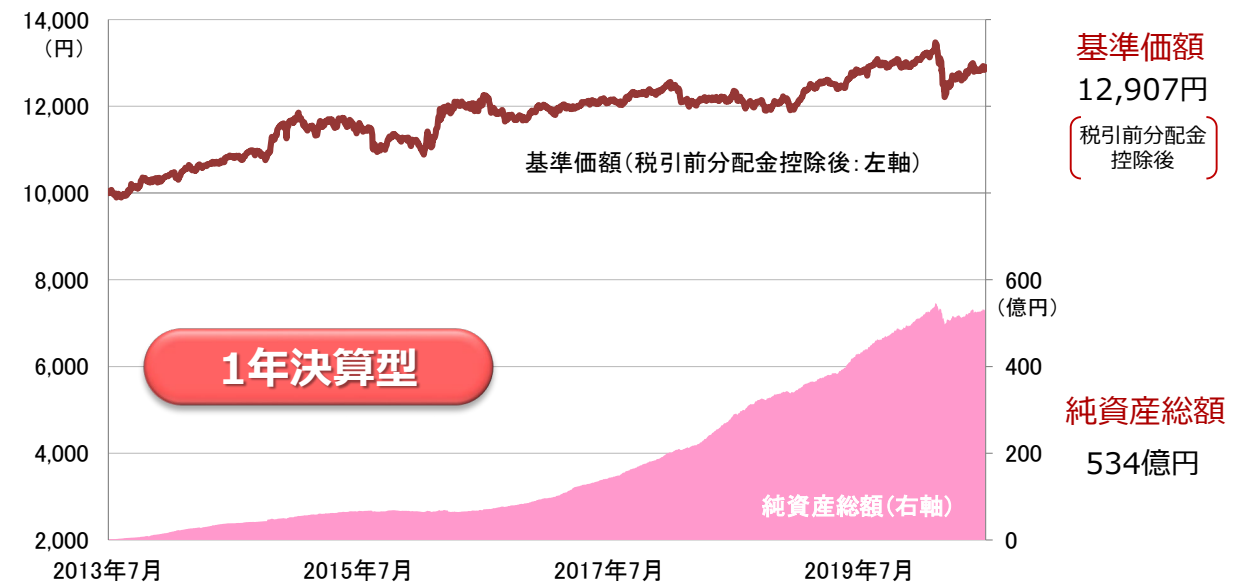
Fund Information

ファンド情報提供資料

(2013年7月16日(設定日)～2020年7月16日)
基準価額、純資産総額、分配金は2020年7月16日現在の情報です。



分配金実績	設定来合計額	2013年10月～2015年1月	2015年2月～2020年7月
	3,120円	30円/月	40円/月

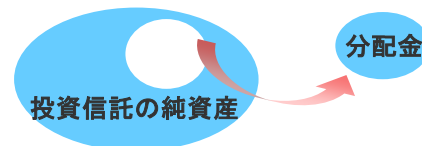


分配金実績	設定来合計額	2014/4	2015/4	2016/4	2017/4	2018/4	2019/4	2020/4
	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円

- 基準価額は信託報酬(後述の「手数料等の概要」参照)控除後、分配金は税引前の1万口当たりの値です。
- 税引前分配金再投資ベースとは、分配金(税引前)を再投資したものととして算出した理論上のものである点にご留意ください。
- 分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。
- 上記は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

収益分配金に関する留意事項

投資信託で分配金が支払われるイメージ

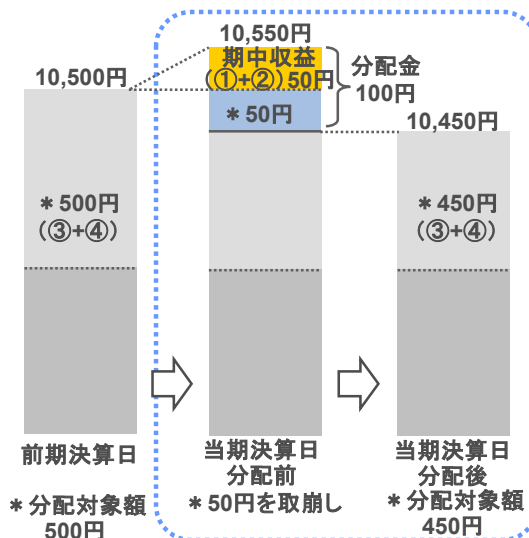


- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

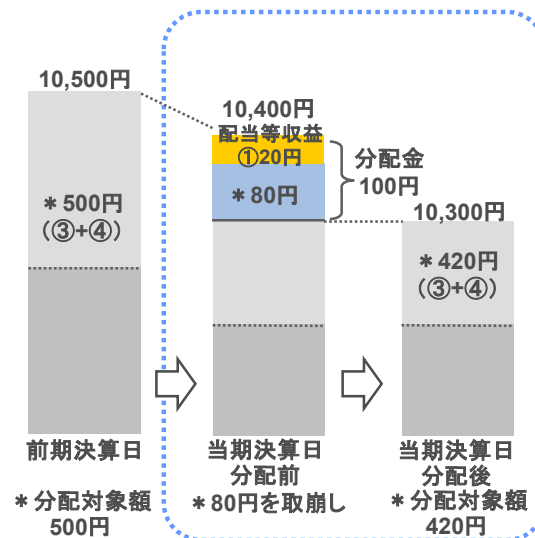
- 分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合

前期決算から基準価額が上昇した場合



前期決算から基準価額が下落した場合

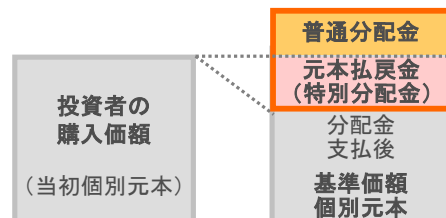


(注)分配対象額は、①経費控除後の配当等収益および②経費控除後の評価益を含む売買益ならびに③分配準備積立金および④収益調整金です。分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

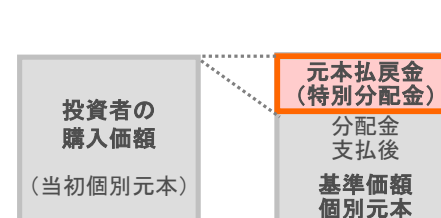
※上記はイメージであり、将来の分配金の支払いおよび金額ならびに基準価額について示唆、保証するものではありません。

- 投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりがかつた場合も同様です。

分配金の一部が元本の一部払戻しに相当する場合



分配金の全部が元本の一部払戻しに相当する場合



※元本払戻金(特別分配金)は実質的に元本の一部払戻しとみなされ、その金額だけ個別元本が減少します。また、元本払戻金(特別分配金)部分は非課税扱いとなります。

普通分配金：個別元本(投資者のファンドの購入価額)を上回る部分からの分配金です。
元本払戻金(特別分配金)：個別元本を下回る部分からの分配金です。分配後の投資者の個別元本は、元本払戻金(特別分配金)の額だけ減少します。

お申込みに際しての留意事項

■投資信託に関する留意事項

- 投資信託は預金・貯金ではありません。
- 日本郵便株式会社は、株式会社ゆうちょ銀行から委託を受けて、投資信託の申し込みの媒介(金融商品仲介行為)を行います。日本郵便株式会社は金融商品仲介行為に関して、株式会社ゆうちょ銀行の代理権を有していないとともに、お客さまから金銭もしくは有価証券をお預かりしません。
- 当資料は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。投資信託取得の申し込みにあたっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえご自身でご判断ください。
- 投資信託説明書(交付目論見書)はゆうちょ銀行各店または投資信託取扱郵便局の投資信託窓口にて用意しております。ただし、インターネット専用ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)はインターネットによる電子交付となります。

■リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者(受益者)の皆様へ帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に債券、株式、不動産投信および金上場投信を実質的な投資対象としますので、債券、株式、不動産投信および金上場投信の価格の下落や、債券、株式、不動産投信および金上場投信の発行体の財務状況や業績の悪化、不動産および金地金の市況の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

投資対象とする投資信託証券の主なリスクは以下の通りです。

【価格変動リスク】【流動性リスク】【信用リスク】【為替変動リスク】【カントリー・リスク】

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

※ ファンドが投資対象とする投資信託証券は、これらの影響を受けて価格が変動しますので、ファンド自身にもこれらのリスクがあります。

※ 基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

【その他の留意事項】

- 当資料は、投資者の皆様へ「スマート・ファイブ(毎月決算型)／(1年決算型)」へのご理解を高めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- 投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- 投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様へ帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書(交付目論見書)などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認の上、お客様ご自身でご判断ください。

お申込みメモ

商品分類	追加型投信／内外／資産複合
購入単位	販売会社が定める単位 ※販売会社の照会先にお問い合わせください。
購入価額	購入申込受付日の翌営業日の基準価額
信託期間	2028年4月10日まで(2013年7月16日設定)
決算日	【毎月決算型】毎月8日(休業日の場合は翌営業日) 【1年決算型】毎年4月8日(休業日の場合は翌営業日)
購入・換金 申込不可日	販売会社の営業日であっても、下記のいずれかに該当する場合は、購入・換金の 申込みの受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。 ・ニューヨーク証券取引所の休業日 ・英国証券取引所の休業日 ・ニューヨークの銀行休業日 ・ロンドンの銀行休業日
換金代金	原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目からお支払いします。

委託会社、その他関係法人

委託会社:	日興アセットマネジメント株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第368号 加入協会: 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
投資顧問会社:	日興グローバルラップ株式会社
受託会社:	三井住友信託銀行株式会社
販売会社:	株式会社ゆうちょ銀行 登録金融機関 関東財務局長(登金)第611号 加入協会: 日本証券業協会 【金融商品仲介業者】 日本郵便株式会社 関東財務局長(金仲)第325号

手数料等の概要

投資者の皆様には、以下の費用をご負担いただきます。

＜申込時、換金時にご負担いただく費用＞

購入時手数料 購入時の基準価額に対し2.2%(税抜2%)以内
※購入時手数料(スイッチングの際の購入時手数料を含みます。)は販売会社が
定めます。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。
※収益分配金の再投資により取得する口数については、購入時手数料はかかりません。

換金手数料 ありません。

信託財産留保額 ありません。

＜信託財産で間接的にご負担いただく(ファンドから支払われる)費用＞

運用管理費用 純資産総額に対し年率1.47175%(税抜1.3525%)以内が実質的な信託報酬となります。
(信託報酬)

信託報酬率の内訳は、当ファンドの信託報酬率が年率1.1%(税抜1%)、
投資対象とする投資信託証券の組入れに係る信託報酬率が年率0.37175%
(税抜0.3525%)以内となります。

受益者が実質的に負担する信託報酬率(年率)は、委託会社が算出した上限値です。
当該上限値は、投資対象とする投資信託証券の想定される組入比率に基づき
委託会社が算出したものですが、当該投資信託証券の変更などにより見直すことが
あります。

その他の費用・
手数料 目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の
委託費用を含みます。)、監査費用などについては、ファンドの日々の純資産総額
に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から
支払われます。

組入る有価証券の売買委託手数料、借入金の利息および立替金の利息などがその都度、
信託財産から支払われます。

※運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことは
できません。

※ 投資者の皆様にご負担いただくファンドの費用などの合計額については、保有期間や運用の状況などに
応じて異なりますので、表示することができません。

※ 詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。



「モーニングスター・アワード“Fund of the Year”」 4年連続受賞



スマート・ファイブ(毎月決算型)



2016年
バランス(安定)型
部門
最優秀ファンド賞



2017年
バランス(安定)型
部門
優秀ファンド賞



2018年
バランス型
部門
優秀ファンド賞



2019年
バランス(安定)型
部門
優秀ファンド賞

当賞は国内追加型株式投資信託を選考対象として、独自の定量分析、定性分析に基づき、2016年、2017年、2018年および2019年において各部門別に総合的に優秀であるとモーニングスターが判断したものです。バランス(安定)型 部門は、2016年12月末において当該部門に属するファンド109本の中から、2017年12月末において当該部門に属するファンド142本の中から、2019年12月末において当該部門に属するファンド265本の中から、また、バランス型 部門は、2018年12月末において当該部門に属するファンド1,030本の中から、それぞれ選考されました。

Morningstar Award “Fund of the Year 2016”、“Fund of the Year 2017”、“Fund of the Year 2018”および“Fund of the Year 2019”は過去の情報に基づくものであり、将来のパフォーマンスを保証するものではありません。また、モーニングスターが信頼できると判断したデータにより評価しましたが、その正確性、完全性等について保証するものではありません。著作権等の知的財産権その他一切の権利はモーニングスター株式会社並びにMorningstar, Inc. に帰属し、許可なく複製、転載、引用することを禁じます。

「R&Iファンド大賞」

2020年(投資信託 バランス比率変動型(標準))

「最優秀ファンド賞」



スマート・ファイブ(毎月決算型)



スマート・ファイブ(1年決算型)

「R&Iファンド大賞」は、R&Iが信頼し得ると判断した過去のデータに基づく参考情報(ただし、その正確性及び完全性につきR&Iが保証するものではありません)の提供を目的としており、特定商品の購入、売却、保有を推奨、又は将来のパフォーマンスを保証するものではありません。当大賞は、信用格付業ではなく、金融商品取引業等に関する内閣府令第299条第1項第28号に規定されるその他業務(信用格付業以外の業務であり、かつ、関連業務以外の業務)です。当該業務に関しては、信用格付行為に不当な影響を及ぼさないための措置が法令上要請されています。当大賞に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利はR&Iに帰属しており、無断複製・転載等を禁じます。

当賞では2018、2019、2020年それぞれの3月末時点における1年間の運用実績データを用いた定量評価がいずれも上位75%に入っているファンドに関して、2020年3月末における3年間の定量評価によるランキングに基づいて表彰しています。